



「わかれて-つづけて」 & 「不活動」

「わかれて-つづけて」

- ・競技者がわかれるまで手の平を離し、その後両手を合わせ「つづけて」の合図をおこなう。
- ・主審が「わかれて」を告げたとき競技者が得点技を出した、そのとき副審は得点の旗表示をしてはいけない。
- ・主審は人差し指を唇にあて副審の同意を得てカテゴリー2の違反を与える。
- ・競技者が技を出した場合、主審はヤメを掛けカテゴリー2を与える。コンタクトがあればカテゴリー1の両方を与える。
- ・「わかれて-つづけて」は競技時間の開始から終了するまでの間、使用することができる。
(15秒未満を含む全競技時間)
- ・「つづけて」と「不活動」は15秒未満で使用することはできない。

「不活動」

- ・不活動は得点、又は先取でリードしている競技者に与えることはできない。
- ・両方に与える場合
不活動の補助動作を行い、両方の競技者にC2の違反を示す、副審の同意を得てカテゴリー2を与える。
- ・片方に与える場合
不活動の補助動作を行い、どちらか与える側の競技者にC2の違反を示す、副審の同意を得てカテゴリー2を与える。

2022年3月24日

(公財)全日本空手道連盟審判委員会
委員長 高橋 和夫